ポインティング デバイスとキーボード
ユーザ ガイド

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2007 年 7 月

製品番号：440786-291

このガイドについて

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1　ポインティング デバイスの使用

名称		説明
(1)	ポインティング スティック	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(2)	左のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3)	右のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインタ オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows®の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。

ポインティング スティックの使用

ポインタを移動するには、画面上でポインタを移動したい方向にポインティング スティックを押します。ポインティング スティックの左右のボタンの使い方は、外付けマウスの左右のボタンと同じです。

外付けマウスの接続

USB ポートのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピュータに接続できます。外付けマウスは、別売のドッキング デバイスまたは拡張製品を使用してシステムに接続することもできます。

2　キーボードの使用

キーボード ライトの使用

キーボード ライトを使用して、周囲が暗いときにコンピュータのキーボードを照らすことができます。

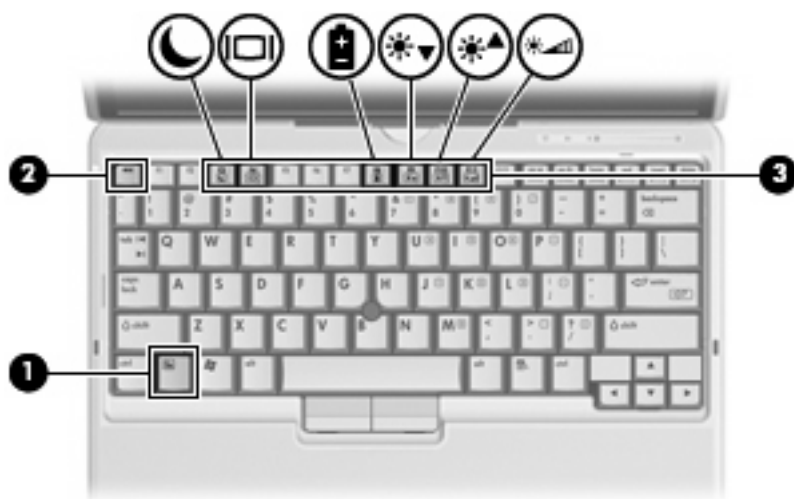
▲　キーボード ライトを開いて点灯するには、キーボード ライト ボタンを押します。

▲ キーボード ライトを消して閉じるには、カチっと音がして所定の位置に収まるまでキーボード ライトをゆっくり押します。

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー（1）と esc キー（2）またはどれかのファンクション キー（3）の組み合わせです。

f3、f4 および f8 ～ f10 の各キーのアイコンは、ホットキーの機能を表しています。ホットキーの機能および操作については次の項目で説明します。

注記： お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。また、次の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです。

機能	ホットキー
システム情報を表示する	fn ＋ esc
スリープを開始する	fn ＋ f3
コンピュータ本体のディスプレイと外付けディスプレイで表示画面を切り替える	fn ＋ f4
バッテリ情報を表示する	fn ＋ f8
画面の輝度を下げる	fn ＋ f9
画面の輝度を上げる	fn ＋ f10
周辺光センサを有効にする	fn ＋ f11

ホットキー コマンドをコンピュータのキーボードで使用するには、次のどちらかの手順で操作します。

- 短く fn キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。

  -または-

- fn キーを押しながらホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押した後、両方のキーを同時に離します。

システム情報の表示（fn ＋ esc）

fn ＋ esc を押すと、システムのハードウェア コンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます。

Windows では、fn ＋ esc を押すと、システム BIOS（基本入出力システム）のバージョンが BIOS 日付として表示されます。一部の機種では、BIOS 日付は 10 進数形式で表示されます。BIOS 日付はシステム ROM のバージョン番号と呼ばれることもあります。

スリープの開始（fn ＋ f3）

△ **注意：** 情報の損失を防ぐため、スリープを開始する前に必ずデータを保存してください。

スリープを開始するには、fn ＋ f3 キーを押します。

スリープを開始すると、情報がシステム メモリに保存され、画面表示が消えて節電モードになります。コンピュータがスリープ状態のときは電源ランプが点滅します。

スリープを開始する前に、コンピュータの電源が入っている必要があります。

注記： コンピュータがスリープ状態のときに完全なローバッテリの状態になった場合、コンピュータはハイバネーションを開始して、メモリ内の情報をハードドライブに保存します。完全なローバッテリの状態になった場合、出荷時設定ではハイバネーションが開始されますが、この設定は Windows の[コントロールパネル]の[電源オプション]で変更できます。

スリープ状態を終了するには、電源スイッチを右方向に短くスライドさせます。

fn ＋ f3 ホットキーの機能は変更することができます。たとえば、スリープではなくハイバネーションを開始するように fn ＋ f3 ホットキーを設定することもできます。

注記： Windows オペレーティング システムのウィンドウでの「**スリープ ボタン**」に関する記述はすべて、fn ＋ f3 ホットキーに当てはまります。

画面の切り替え（fn ＋ f4）

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、fn ＋ f4 を押します。たとえば、コンピュータにモニタを接続している場合は、fn ＋ f4 を押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、モニタのディスプレイ、コンピュータ本体とモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピュータからビデオ情報を受け取ります。fn ＋ f4 のホットキーでは、コンピュータからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が fn ＋ f4 のホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD （コンピュータ ディスプレイ）
- 外付け VGA （ほとんどの外付けモニタ）

バッテリ充電情報の表示（fn ＋ f8）

fn ＋ f8 を押すと、コンピュータに取り付けられているすべてのバッテリの充電情報が表示されます。この表示から、充電中のバッテリと、各バッテリの残量を確認できます。

画面の輝度を下げる（fn ＋ f9）

fn ＋ f9 を押すと、画面の輝度が下がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に下がります。

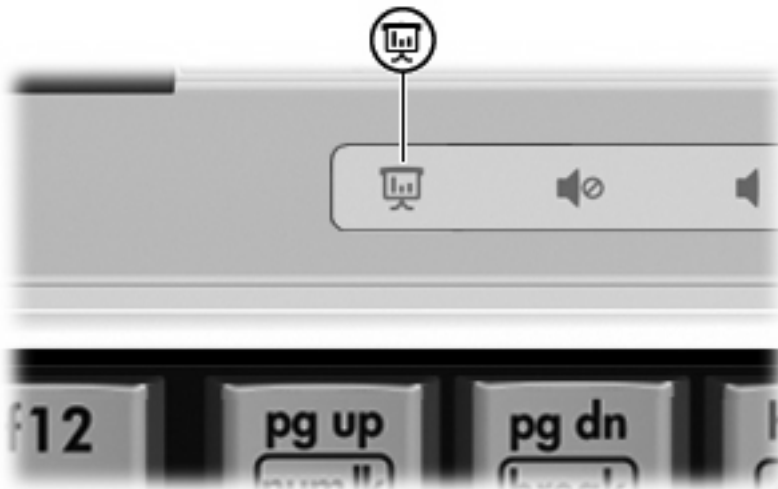
画面の輝度を上げる（fn ＋ f10）

fn ＋ f10 を押すと、画面の輝度が上がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に上がります。

周辺光センサの有効化（fn ＋ f11）

周辺光センサの有効/無効を切り替えるには、fn ＋ f11 を押します。

3　HP Quick Launch Buttons

プレゼンテーション ボタン

プレゼンテーション ボタンを初めて押したときに、[プレゼンテーション設定]ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスでは、次のどれか 1 つの操作を実行するようにボタンを設定することができます。

- 指定したプログラム、フォルダ、ファイル、または Web サイトを開く
- 電源プランを選択する
- 表示設定を選択する

画像は、コンピュータ本体の画面と以下のポートまたはコネクタのどちらかに接続された外付けデバイスに同時に表示されます。

- 外付けモニタ ポート
- 別売のドッキング デバイスのポートまたはコネクタ

プレゼンテーション ボタンの出荷時設定を使用しない場合、ボタンのプログラムを変更して以下のどれかの操作を実行することが可能です。

- Q Menu または Info Center（インフォ センター）を起動する
- 電子メール アプリケーションを起動する
- Web サイトを検索する検索ボックスを起動する

インフォ ボタン

インフォ ボタンを初めて押したときに、Info Center（インフォ センター）が起動します。Info Center を使用して、あらかじめ設定されたソフトウェア プログラムを起動できます。インフォ ボタンの出荷時の設定を使用しない場合は、次のどれかの操作を実行するようにボタンを再設定することができます。

- Q Menu またはプレゼンテーション機能を起動する
- 電子メール アプリケーションを起動する
- Web サイトを検索する検索ボックスを起動する

QuickLook の使用（一部のモデルのみ）

注記： QuickLook（クイックルック）で情報を表示する前に、QuickLook をインストールしておく必要があります。

QuickLook を使用して、Microsoft® Outlook にある電子メールの受信箱、予定表、連絡先、および仕事の情報をコンピュータのハードドライブに保存できます。コンピュータの電源が切れている時、ハイバネーション、またはスリープの時にコンピュータのインフォ ボタンを押すと、これらの情報をすぐに表示できます。

注記： Windows のログオン パスワードを設定している場合は、コンピュータの電源が切れている時、ハイバネーション、またはスリープの時にコンピュータのインフォ ボタンを押すと、パスワードの入力を求められます。

注記： QuickLook および設定について詳しくは、ヘルプを参照してください。

QuickLook のインストール

QuickLook をインストールするには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[Software Setup]**の順に選択します。
2. すべてのチェック ボックスのチェックを外します。
3. **[オプションのソフトウェア アプリケーション]**を展開して、**[HP QuickLook]**を選択します。
4. **[Install]**（インストール）をクリックします。

Quick Launch Buttons の[設定]画面の使用

注記： [HP Quick Launch Buttons]の[設定]画面には、お使いのコンピュータによってサポートされていない機能が表示されていることもあります。

[HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチ ボタン）の[設定]画面では、以下の設定を管理します。

- プレゼンテーション ボタンおよび Info Center Button のプログラム、およびそれぞれのボタンの設定の変更
- Q Menu の項目の追加、変更、および削除
- Windows デスクトップに表示されるウィンドウのタイリングの設定
- [HP Quick Launch Buttons]アイコンの表示設定
- [HP Quick Launch Buttons]のデスクトップ通知の表示
- 自動モード変更の有効/無効の切り替え
- [クイック スイッチ]の有効/無効の切り替え
- 表示解像度の変更検知機能の有効/無効の切り替え

以下の項目では、[設定]画面内での設定方法について説明します。ウィンドウの右上隅にあるヘルプボタンをクリックすると、[設定]の項目に関する説明が画面上に表示されます。

HP Quick Launch Buttons の[設定]の表示

HP Quick Launch Buttons の[設定]画面は、次のどれかの方法で開くことができます。

- **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[Quick Launch Buttons]**の順に選択します。
- タスクバーの右端にある通知領域の**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンをダブルクリックします。
- 通知領域の[HP Quick Launch Buttons]アイコンを右クリックし、次に**[HP Quick Launch Buttons のプロパティの調整]**をクリックします。

注記： モデルによっては、デスクトップにアイコンが表示される場合があります。

Q Menu の表示

Q Menu では、多くのコンピュータでボタン、キー、またはホットキーを使って起動する各種システム タスクを簡単に起動できます。

Q Menu をデスクトップに表示するには、以下の操作を行います。

▲ **[HP Quick Launch Buttons]**アイコンを右クリックし、**[Q Menu の起動]**を選択します。

周辺光センサの設定

このコンピュータは内蔵の光センサを備えているので、作業している環境の照明の条件に応じて、ディスプレイの輝度が自動的に調整されます。

周辺光センサを有効または無効にするには、2 通りの方法があります。

- fn ＋ f11 を押す
- タスクバーの右端にある通知領域の Quick Launch Buttons ソフトウェアのアイコンを右クリックして、**[Turn Ambient light sensor on/off]**（周辺光センサの有効/無効の切り替え）をクリックします。

以下の手順で、周辺光センサを有効または無効にする機能を Q Menu に追加することもできます。

1. [HP Quick Launch Buttons]の[設定]を開きます。
2. **[Q Menu]**タブをクリックします。
3. **[Q Menu に表示する項目]**の**[Toggle ALS]**（ALS の切り替え）を選択します。

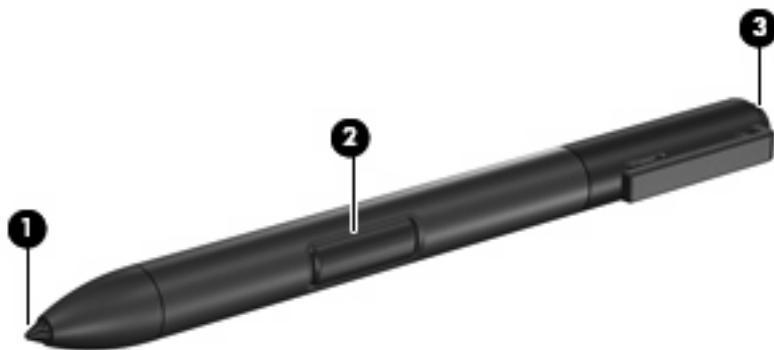
4 ペンとタブレットの設定の使用

ペンとタブレットの設定を使用してタブレット PC に情報を入力したり、アクセスしたりできます。

ペンの使用

Tablet PC 入力パネルなどのペン専用のプログラム、すべての Microsoft® Office アプリケーション、およびその他のほとんどの Windows プログラムとユーティリティで、ペンを使用して入力できます。ペンで画面に入力した情報は、ファイルに保存したり、検索したりできます。また、ほとんどの Windows プログラムで共有できます。

ペンの各部名称

ペン先（**1**）または消しゴム（**3**）を画面から約 1.27cm（0.5 インチ）以内に近づけるとタブレット PC がペンに反応します。ペン ボタン（**2**）は、外付けマウスの右ボタンと同様に機能します。

ペンの持ち方

ペンの持ち方は、通常のペンまたは鉛筆と同じです。ただし、誤ってペン ボタンを押さない位置でペンを持ちます。

ペンの動きを追うとき、ペン先ではなくポインタを見るようにしてください。

ペンを使用したマウスのクリック操作

▲ 外付けマウスの左ボタンの場合と同様に画面上の項目を選択するには、ペン先でその項目をタップします。

▲ 外付けマウスの左ボタンの場合と同様に画面上の項目をダブルクリックするには、ペン先でその項目を 2 回タップします。

▲ 外付けマウスの右ボタンの場合と同様に項目を選択するには、ペン ボタンを押しながらペン先でその項目をタップします。

ペンを使用したその他の操作

マウスのクリックと同じ操作以外にも、次の操作をペンで実行できます。

- ポインタの位置を表示するには、タブレット PC の画面のすぐ上にペン先をかざします。このとき、ペン先が画面に触れないようにしてください。
- 画面上の項目に関するメニュー オプションを表示するには、ペン先で画面をタップします。
- ペンで入力するには、ペン先で画面に書きます。
- ペンで起動するボタンを押すには、ペン先でそのボタンをタップします。
- ペンで消すには、消しゴム側を下にしてペンを持ち、削除する場所の上で消しゴムを動かします。

圧力感知

タブレット PC のペンには、圧力感知機能が備わっています。つまり、ペンの筆圧の強弱に応じて異なる太さの線を描くことができます。

注記： この機能を使用できるのは、Tablet PC 入力パネル ソフトウェア プログラムが有効に設定されている場合だけです。

ペンの調整

ペンは、初期設定時の調整状態でも別のユーザが行った調整状態でも動作します。ただし、自分の書き方とマウス操作の動きに合わせて調整した状態でペンを使用することを強くおすすめします。調整によって、すべてのユーザ、特に左利きのユーザが最適な状態でペンを使用できるようになります。

ペンを調整するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[Tablet PC 設定]**の順に選択します。
2. **[全般]**タブの下にある**[調整]**ボタンをタップします。
3. 画面の説明に沿って操作します。
   - 各調整マーカの真ん中を正確にペンでタップします。調整マーカは、画面上にプラス記号（＋）で表示されます。
   - 縦方向と横方向の両方で使用できるようにペンを調整してください。

注記： **[Tablet PC 設定]**ウィンドウでの設定に関する情報を表示するには、そのウィンドウの右上隅にある**[ヘルプ]**ボタンを選択して、目的の設定を選択します。

ペン ホルダの使用

ペンを使用しないときは、コンピュータのペン ホルダにペン先からペンを挿入して保管します。

ペンの設定

ペンの設定は、オペレーティング システムの**[Tablet PC 設定]**ウィンドウで行います。この設定には、右利きユーザまたは左利きユーザ用の画面メニューの位置の設定、ペン用の画面調整、手書き認識の最適化などがあります。

ペン設定にアクセスするには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[Tablet PC 設定]**の順に選択します。

ペンのオプションは、**[ペンと入力デバイス]**ウィンドウで設定します。このオプションには、ダブルタップの速度の設定、プレス アンド ホールドの設定、ペン ポインタのオプション、フリックの設定などがあります。

ペンのオプションにアクセスするには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[ペンと入力デバイス]**の順に選択します。

[Tablet PC 設定]ウィンドウと**[ペンと入力デバイス]**ウィンドウで行った設定とオプションの指定は、ペンとタブレット PC だけに適用されます。ポインタの速度、クリックの速度、マウスの軌跡などのポインティング デバイスの設定は、**[マウスのプロパティ]**ウィンドウで設定します。この設定は、システムのすべてのポインティング デバイスに適用されます。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。

ペン先の交換

お使いのペンに付属の金具を使用して、使用済みのペン先を取り出します。

使用済みのペン先を取り出すには、以下の手順で操作します。

1. 金具を使用してペン先をつかみます（**1**）。
2. ペン先をペンから引き抜きます（**2**）。

新しいペン先を挿入するには、以下の操作を行います。

▲ 所定の位置に固定されるまで、新しいペン先を差し込みます。

5 テンキーの使用

このコンピュータにはテンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

注記： お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。また、次の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです。

	名称	説明
(1)	内蔵テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます
(2)	fn キー	ファンクション キーまたは esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使うシステムの機能を実行します
(3)	num lock ランプ	点灯：num lock がオン（内蔵テンキーがオン）の状態です
(4)	num lock キー	fn キーと一緒に押すと、内蔵テンキーのオン/オフが切り替わります

内蔵テンキーの使用

内蔵テンキーの 15 個のキーは、外付けテンキーと同様に使用できます。内蔵テンキーが有効になっているときは、テンキーを押すと、そのキーの手前側面にあるアイコン（日本語キーボードの場合）で示された機能が実行されます。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、fn ＋ num lk キーを押します。Num Lock ランプが点灯します。fn ＋ num lk キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。

注記： 外付けキーボードまたはテンキーがコンピュータ、別売のドッキング デバイス、または別売の拡張製品に接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

fn キーまたは fn ＋ shift キーを使って、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能を一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効になっているときにテンキーの機能をテンキー入力機能に変更するには、fn キーを押したままテンキーを押します。
- テンキーが有効な状態でテンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、以下の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、fn キーを押したまま文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、fn ＋ shift キーを押したまま文字を入力します。

別売の外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、num lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります。（出荷時設定では、num lock はオフになっています。）たとえば、次のようになります。

- num lock がオンのときは、数字を入力できます。
- num lock がオフのときは、矢印キー、page up キー、page down キーなどのキーと同様に機能します。

外付けテンキーで num lock をオンにすると、コンピュータの num lock ランプが点灯します。外付けテンキーで num lock をオフにすると、コンピュータの num lock ランプが消灯します。

作業中に外付けテンキーの num lock のオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

▲ コンピュータではなく、外付けテンキーの num lk キーを押します。

6 キーボードの清掃

⚠ **警告！** 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使ってキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃してください。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使ってキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。

索引